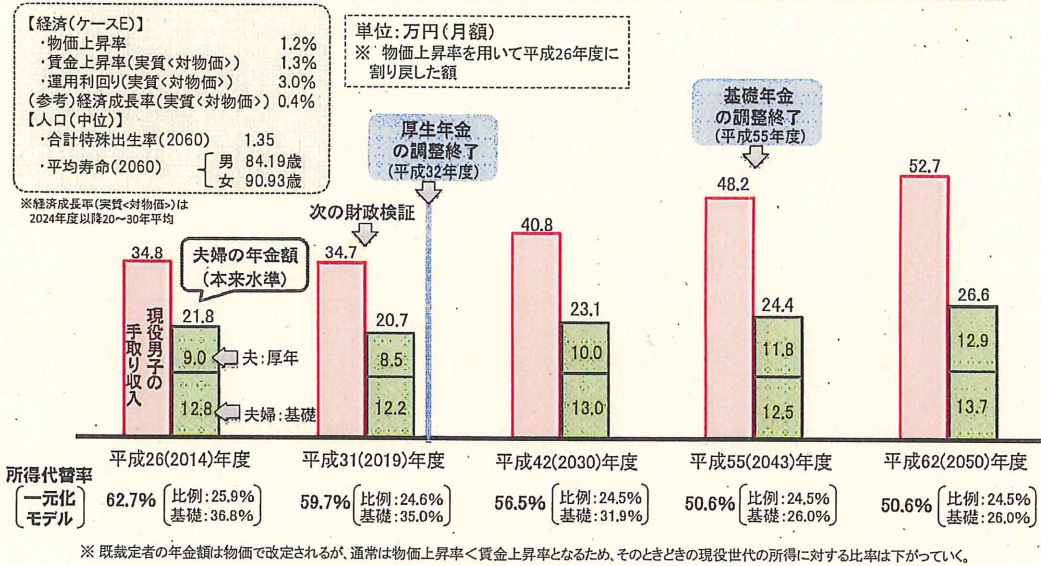


年金額の将来見通し（平成26年財政検証）

－経済：ケースE（変動なし）、人口：出生中位、死亡中位－

○マクロ経済スライドによる調整は『基礎年金で平成55年度』『厚生年金で平成32年度』で終了し、それ以後、『所得代替率50.6%』が維持される



－経済：ケースH（変動なし）、人口：出生中位、死亡中位－

○マクロ経済スライドによる調整を機械的に続けるとしても、国民年金は2055年度に積立金がなくなり、完全な賦課方式に移行する。その後、保険料と国庫負担で賄うことのできる給付水準は、所得代替率35%～37%程度

